

船舶事故等調査報告書

平成22年9月30日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009横第219号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成21年8月21日（金） 12時46分ごろ	
発生場所	三重県津市白塚港南防波堤灯台から真方位093.5° 1.3海里付近 （概位 北緯34°45.7′ 東経136°34.1′）	
事故等調査の経過	平成21年8月21日、本事故の調査を担当する主管調査官（横浜事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 清掃兼油回収船 ^{はくりゅう} 白龍、198トン 140882、国土交通省 B モーターボート ^{エイプリルウィング} APRILWING 5、5トン未満 243-9404三重、個人所有	
乗組員等に関する情報	A 船長、五級海技士（航海）（履歴限定） B 船長、二級小型船舶操縦士	
死傷者等	なし	
損傷	A 右舷中央部に長さ約1.2mの擦過傷 B 船首先端に約5cmの圧損及び船首部ハンドレール一部曲損	
事故等の経過	A船は、白塚港南防波堤灯台東方沖において、船長Aほか5人が乗り組み、約110°（真方位、以下同じ。）に船首を向けて錨泊中、B船は、船長Bが1人で乗船し、約020°の針路及び約4.0ノットの速力で帆走中、平成21年8月21日12時18分ごろ、A船の右舷中央部とB船の船首部がほぼ直角に衝突した。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 東、風力 3、視界 良好 海象：潮汐 下げ潮の末期	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし なし A船は錨泊中、B船は帆走して北進中、白塚港南防波堤灯台東方沖において、両船が衝突したものと考えられる。 A船は、見張りを行っていなかったため、B船の接近に気付かなかったものと考えられる。 B船は北進中、船長Bが、読書をしていて見張りを行わなかったため、A船に気付かなかったものと考えられる。
原因	本事故は、白塚港南防波堤灯台東方沖において、A船が錨泊中、B船が北進中、B船が見張りを行わなかったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。	